

授業の双方向コミュニケーションを活性化するための画像処理システム

学校の授業は、教師から学生への一方向の知識伝達に偏りがちであり、双方向コミュニケーションの活性化が望まれている。すでに教師用コンピュータと学生用端末をネットワークで接続したITシステムが開発されているが、機器への投資と管理コストのために大きく普及するに至っていない。

教師の質問に対して学生毎に数種類のカードから1枚を挙げた風景をカメラで捉えて画像処理技術により自動集計するシステムを研究開発している。カメラとPCとカードのみからなる簡便なシステムにより、いつでもどこでも教員と学生の双方向コミュニケーションを実現することを目指している。

様々な照明条件や教室条件に適応できる実用的なシステムの実現に向けて研究開発を推進しています。実用化にご関心のある方は是非ご連絡ください。

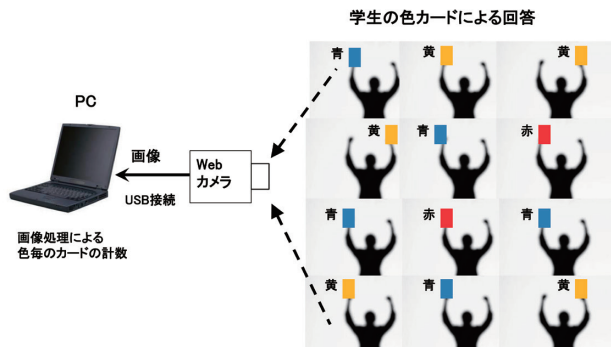


鎌田 洋 教授

学部：情報フロンティア学部 学科：メディア情報学科
所属研究所：情報技術研究所
博士(工学)。(株)富士通研究所を経て、平成21年本学教授就任。

Keyword

コミュニケーション／学習システム／映像処理／グラフィックス



学生に数種類のカードを予め配布しておく。教師の質問に対して、学生は回答に対応するカードを1枚挙げる。この風景をカメラで捉えて、教員のPCで画像処理してカードを自動集計するシステムを研究開発している。